



法人設立から8年目。今年もまた無事に総会が迎えられることをとてもうれしく思っています。市民団体にせよ、NPO法人にせよ、活動を始めて月日がたつと、会員や実際に活動できる人の減少という課題にぶつかっているところが少なくありません。そうしたなか、私たち子育てほっとねっとは、年を追うごとに会員や活動に関わってくださる人が増えてきており、本当にありがたいことです。法人の自主事業として2017年度には子ども食堂「みんなのテーブル」が、そして2018年度には念願だった家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」が本格スタートしました。生みの苦し

みとでもいうのでしょうか、それぞれ乗り越えなければならぬ課題はたくさんあります。しかし、この2つの自主事業が始まったおかげで今まで接点のなかったいろいろな人たちと出会い、ともに活動できるようになったことは何よりよいことだったと私は思っています。活動への参加の形にはいろいろあります。手足を使って働くことだけが参加ではありません。1人1人にできる参加の形で子育てほっとねっとの活動をこれからも支えていただけたらこんなにうれしいことはありません。

今年度もまた1年間どうぞよろしくお願ひいたします。 理事長 西田由記子

## < 遡ること9年前 >

ファミリーサポートセンター設立前に、利用者の立場で会議に参加していたのが、本法人と長いお付き合いになるきっかけです。「こういうファミサポがあるなら、安心してもう一人産める!」と確信したことを、今も鮮明に覚えています。

また、つどいの広場のオープン日にはさっそく利用しました。たまにふらっと寄らせて頂いた日でも温かく迎えられたことは、居場所を感じられるひとときでした。子ども食堂では、仕事に疲弊した私の息抜きの

## 齊藤さんに一言いただきました。

場、という目的が強いかもしれません。



そして今、ホームスタートのトラスティーとして関わらせて頂くに至ります。

親子の暮らしが、各事業の発展によって支えられていることを、身を以って知る立場を活かし、微力ながら理事を務めています。

理事・HS トラスティ 齊藤紘子

### NPO法人「子育てほっとねっと」会員募集中!

当法人の目的に賛同し、活動推進する個人および団体の方。下記までご連絡ください。

年会費⇒正会員 = 2000円

連絡先 TEL 090-9230-8755

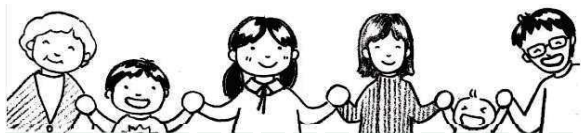
支え会員 = 1000円 (1口)

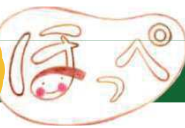
FAX 0287-47-6252

HP <http://hottonetto.com/>

Eメール [hotnet@tbz.t-com.ne.jp](mailto:hotnet@tbz.t-com.ne.jp)

代表 西田由記子





ほっぺは今年4月から市の再委託を受け、さらに5年間運営を続けることになりました。

2018年度の利用者は、2162組（大人2178人、子ども2566人、計4744人）でした。前年度比106%と、年々利用者が増えていきます。今年度は再委託を機に、月1回第4土曜日を開館することにしました。年度末アンケートで土曜日の利用意向を尋ねたところ、利用したいと答えた方が想像以上に多く驚きました。理由として一番に挙げられたのは、「土曜日にも夫が仕事だから」で、ほかに「土・日に行くところがない」「夫がどんなところか知りたがっている」「夫に子ども



を連れて出かけてほしい」などがありました。利用希望と実際の利用には差があるとは思いますが、いったいどんな土曜日になるのか、ドキドキしています。お父さんが子どもと遊びやすいおもちゃの用意（お父さんも夢中になれるおもちゃ？）や授乳室の整備など、準備を進めています。お母さんと子どもだけでなく、お父さん、そしておじいちゃん・おばあちゃんなどだれもが気軽に来ることができるひろばを目指して頑張っていきたいと思っています。

ほっぺスタッフ 西田・室井・星・八木沢・根本



つどいの広場“ま〜る”は移転して丸1年が経ちました。最近ま〜るでは、知り合い同士ではなくても互いの子をみたり、赤ちゃんを抱っこしてあげたり、余裕ができたお母さん達が自然と行動してくれます。私達スタッフは、そんな場面を見ているととてもあたたかい気持ちになります。お母さん同士が、互いに助け合いながら子育てをしていける場所になるように、少しでも応援・助言ができるよう努力していきたいと思っています。

年度末のアンケート調査では「広くなり利用がしやすくなった」「場所がわかりやすい」「駐車場が広くて安心」等、

移転してよかったと思える意見をたくさんいただきました。利用状況は、昨年度比で〈0～1歳児130%〉〈2歳児62%〉〈3歳児116%〉〈4～5歳児300%〉と4～5歳児の利用が大幅に増えています。全体としては106%の増でした。2歳児のみ減少という結果は、母親の就業増加によるものが理由に考えられますが、これらの全体の結果を踏まえて今後のま〜るの取り組みを検討していこうと考えています。

ま〜るスタッフ

高根澤・沢登・後藤・川島





子ども食堂の看板とのぼり旗が上がり、お客様を迎える準備完了！スタッフは、笑顔で来てくれる子供達を待ちます。お母さんに手をひかれてくる子、走って受け付けをしてくれる子、家族皆で来てくれる子、様々ですが、テーブルを囲みお喋りをしながら食べてくれています。外食に足踏みしている家族も、ここなら安心と食事を楽しんでくれているようです。なぜなら同じ子供連れの仲間が大勢テーブルを囲んでいる



からです。少々騒ごうが泣きさけぼうが無礼講です。スタッフも手助けしてくれます。抱っこもしてくれます。何て素敵な風景でしょう。冬場は利用人数が激減します。風邪、インフルエンザ、胃腸炎、寒さ・・・それでも私達スタッフは、いつもと変わらず来店してくれるお客様を待ちます。“継続は力なり” 暖かい春の訪れと共に、また利用してくれる人達の笑顔に出会えるよう、皆で力を合わせていきたいと思っています。元号も令和、今年度のイベント等は決まっていませんが、多くの人達に喜んでもらえるよう企画中です。皆さんの来店お待ちしております。

担当 島田・久保・熊久保・後藤・佐々木  
その他12名(H30年3月現在)のボランティアに支えられています。

## ホームスタート

～必要な支援の充実を～

＜運営費募金受付中！＞

11月からホームスタート活動を開始しましたが、4月までに11件の申し込みがあり、オーガナイザーとホームビジターで63回の訪問をしました。訪問が終了した利用者の方々みなさんに「利用してよかった」と言っていたのも、ホームビジターのみなさんのあたたかい気持ちのおかげだと思っています。

先日、花王ハートポケット倶楽部の助成金をいただくことができました。これは花王の社員有志の方が毎月積立をして、NPOなどの活動に支援してくださっているものですが、助成金の2次選考では、皆さんが投票とともにメッセージも寄せてくださり、この活動へ

の期待や、励ましの言葉をいただきとても感激しました。

「あたたかい思い」で出来る地域に必要な活動（訪問ボランティアや寄付など）を皆で少しずつして、地域の子育て力をアップし、住みよい地域にしていけたらと思っています。そのためにはまず、この活動を知ってもらえるよう広めていきたいです。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



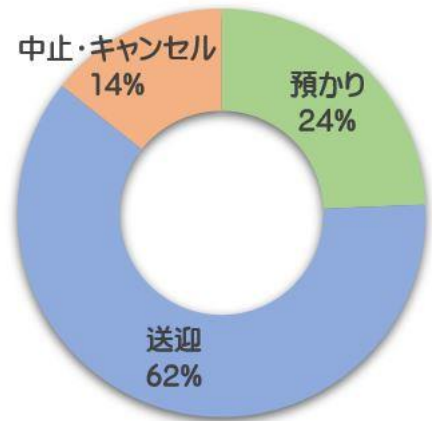
オーガナイザー 磯・高根澤



ファミリーサポートセンターは、おかげさまで8度目の春を迎えております。育休明けの安田さんが復帰し、スタッフ5人態勢でのスタートです。

7年間の累計会員数は1000人を超え、30年度のサポートは1770件でした。件数の数え方がこれまでとは変わりましたが、依然として送迎が多いことは変わりません。利用会員の要望に応じていくためには、引き続き送迎のできるサポート会員を増やしていくことが求められます。サポート会員養成講座は前回よりファミサポが主催となりました。日程や内容を見直し、より魅力的で参加しやすい講座にしていきたいと思っていますので、是非お知り合いにご紹介下さい。サポートを利用した若い世代が、いずれサポート

30年度サポート



する側になってくれるような循環ができれば嬉しいな…と思いつつ、今年度もスタッフ一同知恵を絞り、力を合わせて進んでまいります。ホームページも新しくなりました!!今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。 スタッフ 長瀬・磯・熊久保・久保・安田

**集団託児**

平成30年度を振り返って

090-9230-8755

平成30年度の依頼回数は、黒磯地区15回、西那須野地区4回の計19回となりました。のべ託児数は103人、のべサポーター数59人となっております。地区によって回数に差がありサポーターさんへの声掛けが難しいのが悩みどころです。活動としては依頼が多かった平成29年度とほぼ同水準でした。少しずつですが地域に認知されているように感じられます。初めての経験としましては、幼児を含む小学生メインの大きな依頼があった事です。



年齢差が大きく難しさもありましたが、サポーターさんの力量が発揮された貴重な経験となりました。今年度も登録いただいている95名のサポーターさんと共に『次も是非!』と再び声をかけていただけるよう努めて参ります。HPも充実してきました。今年度も皆さまのご協力お願いいたします。 集団託児担当 久保・安田

**編集後記:** ほっとねっと通信11号もご覧いただきありがとうございます。昭和から平成と生きて、今年、令和元年を迎えられたことが不思議にさえ感じております。いつの間にか70年が過ぎておりました。私ごとではありますが理事の任務も困難になり、この度、理事を退任することにいたしました。長い間、理事として関わらせていただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして御礼申し上げます。また、ほっとねっと通信は編集者募集中です。 090-1818-2855 佐々木ツヤ子